上田市立第一中学校 学校だより

さんがい松



文責:鷲澤 貴夫(教頭)

令和5年(2023年)8月23日 No.5

7月 12日は「総合の日」でした

本校では、年に2回、「1日総合的な学習の時間(総合の日)」を設けています。学年ごとのテーマのもと、地域の方と実際にかかわりながら地域についての理解を深めるとともに、子どもたち自身の自己理解や自己実現のつながりを目指しています。

1 学年は、他者の気持ちに立って生活する力を育むために、福祉交流学習を行い、上田養護学校に行っての交流学習や、学校で点字体験・あいサポーター養成講座での学習を行いました。

毎日の生活は、多くの人との支え合いで成り立っていることを改めて確認しながら、人を支えることが自分自身でもできることを学びました。ま

た、上田養護学校との交流学習では、交流を通して、全力で楽しむことや、声がけなどの教え合いの大切さを学びました。

【生徒の感想から】

- ・上田養護学校に行きました。私の班はボウリングをしました。みんなで「おしい!」や「すごい!」などのかけ声もできて、距離が縮まったような気がしました。
- ・障がいのことや点字の体験を教えてもらいました。私たちの身近にあるものが障がいのある方にとって必要なもので、共存できる世の中にするために、とても大事だと気付かされました。 これからは「あいサポーター」として、自分にできることを進んで行いたいです。
- 2 学年は、今の自分を見つめながらこれからの自分について考える力を育むために、地域で働く社会人の先輩を招き、働くことについて学びました。



「働くことは、人生を豊かにするための貴重な経験値を得ることができるものである」「自分はどういうことが好きなのか、強みが一つでもあれば

将来を決める種になる」など、働くということはどういうことなのかを知り、今の自分について改めて考える時間となりました。

【生徒の感想から】

- ・今から将来を考えて得意なことや長所をつくることが大切だとわかりました。いろんな人の考えを理解し吸収することが、自分で考える力を向上させることにつながるのだとわかりました。 講師の先生が言っていた「何でも吸収」私も身につけていきたいです。
- 3 学年は、地域と共に在る自分が、地域のためにできることを考え、実践する力を育むために、地域の課題や取組についてのお話を聞きました。

今回、お話を伺った自治会では、行政に全てを委ねるのではなく、自治会単位で何ができるのかを考え、試行錯誤しながら、健康・福祉・教育・安全・防災・環境・歴史や文化の伝承と発展・地域の開発について、活動を行っているとのことです。



【生徒の感想から】

・細かく見れば数え切れない課題があると思いました。みんなで考え意識して行動していくことがとても大切だと思いました。自分たちには、笑顔で挨拶活動ができそうです。積極的にボランティア活動をし、ボランティアの募集があったら参加してみたいです。

部活動県大会の結果報告

部活動名		対戦結果
卓球	個人戦	<男子> 2年1名:北信越決定戦1回戦敗退 <女子> 3年1名:1回戦敗退 3年1名:1回戦敗退
水泳		
陸上競技		〈男子〉 1年1500m:予選敗退 〈女子〉 共通100mH:8位入賞 共通800m:予選敗退 共通棒高跳び…9位 1年100m:予選敗退 1年100m:予選敗退 共通4×100mRリレー:予選敗退
バドミントン		<3年女子1名> 1回戦:●0-2 伊那東部中

【お願い】車でのお迎えについて

下校時に一斉に多くのお迎えの車が集まるため、生徒との接触事故や車同士の事故などが心配されています。また、上田パイパスの渋滞にもつながり、一般車にもご迷惑をおかけしている状況もあります。そこで、車でお迎えに来られる際には、次のようにお願いします。

- ・校門からロータリーまでの通路や、ロータリー周辺には、駐停車しないようにしてください。
- ・駐停車する際は、テニスコート西側の駐車場にお願いします。
- ・駐車場から出る際は、歩いている生徒や、車に十分注意して移動してください。
- ・できるだけ、徒歩で登下校するように、お子さんにお声がけください。
- ・ケガ等で昇降口前に駐車したい場合は、学級担任等へご連絡ください。

